

Report 2022

事業・社会・環境活動



みらいへ
かえる
コープ
TOTTORI COOP

鳥取県生協 2030 年ビジョン

ともに生きる

～笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」を実現します～

 鳥取県生活協同組合

弊組は1950年12月に「鳥取県東部勤労者消費生活協同組合」として産声をあげ、今年度が創立72年目の事業年度となります。引き続き「地域勤労者生協」としての歴史を持つ伝統ある生協として、創設者の志を大切にしながら地域社会の期待に応え、組合員のくらしに役立つ生協としてこれからも貢献して参りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応は3年目となりますが、変異株への置き換わりで感染者数が激増し、国内で最少の感染者数であった鳥取県も「特別警報」期間が長期化するなど収束の見通しが持てない状況が続いています。そのような状況下ではありますが、昨年度も多くの県民の皆様に御加入いただき、64,000世帯（県内世帯加入率は約29%）を超える組合員組織となっています。よりよい暮らしづくり、地域経済発展のためにもさらに生協の輪を広げていきたいと思ひます。

また、2022年2月24日から始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国連憲章に違反する行為で人道上、また生協で取り組んできた平和への願いや活動の実践からみても容認できるものではなく、1日も早い停戦実現により国民が平和に暮らせる状況を取り戻す必要があります。引き続き弊組は全国の生協や日本ユニセフ協会とも協力して、ウクライナ国民への支援を継続していきたいと考えています。

弊組はこの間2018年に「コープSDGs行動宣言」を確認し、以降誰もが安心して暮らせる社会の実現、また平和や環境、エシカル消費などの取り組み推進で持続可能な社会の実現を目指しています。また、同年に策定した「福祉政策2018」の実践を通して生協の理念である「地域社会での共助 助け合い」の取り組みを広げ、みんなが幸せに暮らせる社会を目指した取り組みを進めています。

昨年度から「2030年ビジョン～ともに生きる～」の目標達成に向けて「第9次中期3か年方針」にも取り組んでいます。ビジョンの主たるテーマである“笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」づくり”。この「くらしの協同」を実現するための基盤づくりの3年間としていきたいと思ひます。

本報告書は、弊組としてこの1年間の事業活動と社会的取り組みについて取りまとめたものです。皆様のご助言を頂きながら幅広く活動をすすめるとともに、引き続き改善に努めていく所存です。今後とも御指導、御支援をよろしくお願い致します。



鳥取県生活協同組合
代表理事 理事長 井上 約
Hitoshi Inoue

編集方針

はじめに

鳥取県生協は総合マネジメントシステム（CMS）に基づくコンプライアンス体制の整備及び社会的に有効な取り組みをすすめています。事業・社会・環境活動報告書「CSRレポート」は品質、環境、個人情報保護、労働安全衛生などの取り組みを、組合員や取引先、行政などのステークホルダー（利害関係者）のみなさまに対して、適切な情報開示を行うことを目的に発行しています。

【報告期間】

2021年4月1日～2022年3月31日

※一部、上記期間以前もしくは以後直近の活動内容も含まれています。

目次 Contents

- ・ごあいさつ／編集方針／目次（Contents）…………… 1
- ・鳥取県生協の2030年ビジョン／鳥取県生協のプロフィール… 2
- ・事業・活動の紹介…………… 3
- ・組合員活動・食育・平和の取り組み／生活支援の取り組み… 6
- ・社会貢献活動…………… 7
- ・職場環境の整備、安全運転の取り組みなど…………… 10



鳥取県生協の2030年ビジョン



ともに生きる

～笑顔と思いやりでつながり、
夢があふれる「くらしの協同」を実現します～

鳥取県生協 2030年ビジョン

ビジョン
1

全ての世代が
安心できるくらしづくり

組合員の多様なくらしへのお役立ちと
「安心」につながる事業を創造します



ビジョン
2

持続可能な
社会づくり

人々がつながり合い、助け合い、
平和で持続可能な社会づくりを
推進します



ビジョン
3

誰もが生き活きと輝く
鳥取県生協づくり

組合員活動の広がりや、
役職員の学び合いを大切に、
未来へと続く健全な経営を
実現します



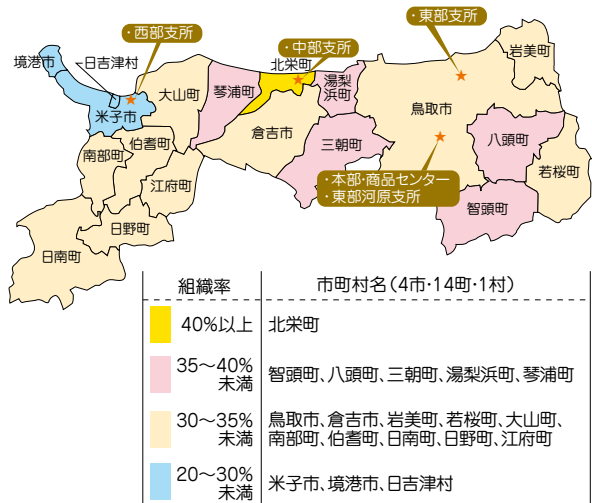
鳥取県生協のプロフィール (2022年3月31日現在)

鳥取県生協の理念

1. 思いやりでつなぐ、人間らしい豊かなくらしの創造。
2. 参加・自立・協同で学び成長できる多数者の組織。
3. 地域との協同、連帯でつちかう地域社会への貢献。

名 称 / 鳥取県生活協同組合
本部所在地 / 鳥取県鳥取市河原町布袋597番地1
理 事 長 / 井上 約
事業内容 / 供給事業、共済事業
事 業 高 / 75億4,586万円
出 資 金 / 21億5,116万円
職 員 数 / 294人 (正規、定時含む)
組合員数 / 64,379人 (県内組織率28.5%)
事 業 所 / 本部・商品センター、支所4箇所
子 会 社 / (有)コブサービスとっとり

●鳥取県市町村別組織率一覧表 (2022年3月31日現在)



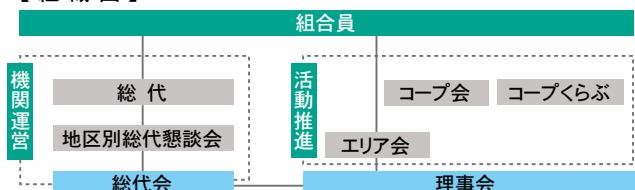
経営体制

鳥取県生協の経営組織

組合員の代表である総代が、意見を持ち寄って参加し、1年間の活動と事業を振り返り、まとめと次年度の方針を決定する機関を総代会といいます。理事会は、総代会で決定された活動方針を毎月具体的に、生協全体の活動・運営に関する政策や方針を決定します。監事会は生協の財産状況や理事の業務執行状況の監査を実行し、監査に関する重要な事項について討議します。

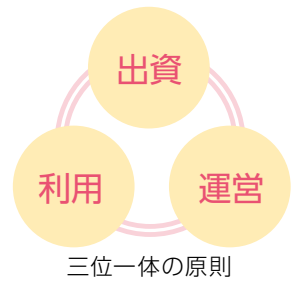
健全で透明性の高い経営が実現できるよう、内部統制システムの整備の実施などをすすめています。

【組織図】



事業・活動の紹介

生協は「生活協同組合」の略で、「協同組合」の一つです。
消費者一人ひとりがお金(出資金)を出し合い組合員となり、協同で利用・運営する組織です。



共同購入・個別配達事業



共同購入

共同購入は、3人以上のグループ(班)でご利用できます。毎週ご指定いただいた場所へ、決まった曜日、時間にお届けしています。



ココステーション

開設時間内のご都合の良い時に、商品をお受け取りいただけます。県内17ヶ所(ミニ東部、ミニ河原含む)にあり、自宅や職場などのお近くのココステーションをご利用いただけます。



個別配達

おひとりでご利用ができ、ご自宅へ商品をお届けしています。さらに生活支援の幅を広げ、サポート制度「さぼーとくん」を実施しています。



インターネット注文(eふれんず)

お手軽に商品注文できる、インターネット注文「eふれんず」があります。

コープアプリ

2022年1月24日から、中国5県の生協で始まったサービスです。鳥取県では7,404人の方にご利用いただいています。(2022年3月31日現在)



個別配達サポート制度 さぼーとくん		個別配達サポート制度 さぼーとくん	
制度名称	制度条件・内容	制度名称	制度条件・内容
赤ちゃんサポート	妊娠中、または0歳のお子様がいいらっしゃる方 【標準料】1年間無料(0円) 1〜3歳のお子様がいいらっしゃる方 【標準料】半額125円(税込137円)/回	介護者サポート	ご本人またはご家族(同居)が介護認定を受けておられる世帯 【標準料】半額125円(税込137円)/回 ※介護認定は要介護が対象(要支援は除く)
シニアサポート	年齢が65歳以上で主に単身またはご夫婦のみでお住まいの方 【標準料】半額125円(税込137円)/回 ※別生計の同居家族がおられる場合は別途ご相談ください。	免許証返納サポート	ご夫婦2人世帯(同居)または、おひとり世帯で組合員本人を含むご夫婦のいずれかが、運転免許証の自主返納を行い「運転経歴証明書」等の交付を受けておられる方 【標準料】1年間無料(0円)
障がい者サポート (心身に障がいのある方を含む)	ご本人またはご家族(同居)が障害者手帳をお持ちの世帯 【標準料】半額125円(税込137円)/回	※配達手数料は1回あたりの金額です。 ※個別サポート制度サポートくんをご利用の場合は確認書類の提示が必要となります。 ※個別サポート制度サポートくんをご利用の方はご利用金額に応じた割引が適用されません。	

鳥取県生協は、赤ちゃんとそのお母さん・お父さんを応援します!

コープ 赤ちゃんサポートクラブ

特典 その1 お子さんが満1歳の誕生日を迎えるまで 2週に1回 サポート商品をプレゼント!

特典 その2 妊娠中もしくは、お子さんが満1歳の誕生日を迎えられるまでにご登録いただくとご登録時から個別配達手数料が1年間無料

さらに 赤ちゃんが3歳の誕生日を迎えるまで 半額!

「はじめてばこ」の取り組み

県内の各市町村が取り組む少子化対策や子育て支援事業と、生協の子育て支援活動などを連携するために、鳥取県内全市町村と「子育て支援に関する連携協定」を結んでいます。

さらに、BSS山陰放送主催の「Hello! Dear Baby」の取り組みとも連携し、鳥取県内に生まれてきた赤ちゃんへ「はじめてばこ」をお届けする取り組みを行っています。

2021年度は2,783家族に「はじめてばこ」をお届けしました。



法人・団体向けの利用制度

病院などの医療施設、介護などの福祉施設、学校や保育などの教育文化施設を対象として、法人・団体として生協の利用ができる制度(出資金は不要)があります。

法人や団体で生協が利用できます!

対象施設

- 病院等の医療施設
- 保育施設
- 介護施設・社会福祉施設
- 学校等の教育文化施設

生協利用のココが便利!

- 1 カタログを見て買い物ができる!
- 2 重い物やかさばる物も運んでくれる
- 3 アレルゲンや日焼けも配慮できる

ご利用方法

夕食宅配事業 (コープきっちゃん)

「高齢者支援」や「食事の準備に困っておられる方へ食生活の支援」等を目的に、2011年4月より全県エリアで夕食宅配事業を開始しました。2021年度は、1日当たり約1,730食の利用をいただきました。おみそ汁や休日用の冷凍商品や米のお届けも行っています。

声 The Voice

とても良い味付けでバランスが取れているので嬉しいです。美味しいです。



夕食宅配お届け

共済・保険事業

相互の助け合いによって、組合員のくらしの個人的リスク、社会的リスクに備える手段の一つとしてCO・OP共済があります。死亡や災害など、不測の事故が生じた場合に、組合員同士で「相互に助け合う」という精神で行う保障です。

2021年度は2,802名の方にご加入いただき、「たすけあいの輪」が広がりました。「たすけあいの輪」が広がることで保障内容も充実してきました。「たすけあいジュニアコース」の満期年齢は20歳でしたが、2021年9月には19歳まで加入すると満30歳まで続けられるようになりました。

また2021年11月には、「学生総合共済」の取り扱いが始まりました。手ごろな掛金で、学生生活に必要な保障を総合的にサポートしています。



CO・OP共済キャラクター



CO・OP共済では共済金の請求書類をお送りする際に、組合員さんから寄せいただいた折鶴を同封しています。

声 The Voice

掛金もお手頃で、保障内容も厚く、何より入院後にお電話し、書類送付してから振込みまでのスピードが速くて嬉しかったです。子ども達にも勧めました。



CO・OP共済は4つの“あい”（愛）で組合員さんのくらしを支えます。

『コープサービスとっとり』では、ケガやがん、三大疾病、介護に備える全国制度の団体保険や自動車保険、生命保険などを取り扱い、組合員の幅広い保障ニーズにお応えしています。

その他、コープサービスと通りの事業

組合員のくらしにお役立ちできるよう、様々な分野でのくらし応援サービスを展開しています。お掃除・お片付けや余暇・趣味、提携店サービスなど多岐にわたります。また、組合員「提携店サービス」CARDを提示すると組合員特典のサービスをご利用できます。

その他、住宅リフォームやコープ葬祭を提携社の協力で運営しています。

〈お掃除・お片付けの分野〉 レンタルモップ、浴室・キッチン・エアコンなどのお掃除、住まいのお片付け、ふとんの丸洗い、リフォームなど

〈余暇・趣味の分野〉 各種公演チケット、絵本の定期便、編み物で作るペットグッズなど



産直の取り組み

組合員の安心・安全でおいしい農産物を求める声と共に、地場の農畜産業の振興に貢献するため、産直事業に取り組んでいます。組合員と職員、生産者が学び合い、試行錯誤を重ねながらより良い商品づくりを実践してきました。その結果、20団体26品目の産直産地とのつながりが広がっています。



鳥取県生協の産直三原則

- (1) 生産者と産地、栽培・肥育方法（農薬・肥料・飼料等）が明確であること
- (2) 組合員と生産者が交流できること
- (3) 産直事業として、適正な取引価格を追求し、事業の継続発展が進められること

生産者と組合員が交流を行う「産直虹のつどい」を毎年開催

産直商品の農産物・畜産物・水産物を育てる生産者と組合員が交流を行なう「産直虹のつどい」は、組合員やそのご家族であればどなたでもご参加いただけるイベントです。2021年度のテーマは、「あふれる笑顔つながる未来」でした。今回は初の試みとなるYouTube視聴での開催となりました。



産直日南トマト

産直提携5周年
産直日南トマト
JAとっとり西部 青戸太一さん(左)
生産者 平岡竜也さん(中)



産直岩国れんこん

産直提携10周年
産直岩国れんこん
広中食品 広中千佳さん(左)



産直「あみとん」命年10周年の取り組みについて
鳥取県協 志本佳典さん

「産直岩国れんこん」提携10周年の取り組みについて
広中食品 広中千佳さん

「日南トマト」産直提携5周年の取り組みについて
JAとっとり西部 志本亮平さん

「大山ブロッコリー」産直提携5周年の取り組みについて
JAとっとり西部 竹中優さん

組合員の願いが形になる商品開発

組合員から寄せられる「こんな商品あったらいいな」などの声やご要望をお聞きし、その願いを実現するためにさまざまな商品の開発や改良を行っています。

2021年10月に発売した
ファミッシュうるおいミルク



声 The Voice

自分たちの出した声は実際に商品化されたり、改良につながると嬉しい。他の組合員さんにもおすすめしやすくなる。



商品開発テスター会議

「生協だからこそ」の商品を広げる取り組み

普段のくらしに欠かせない「生協だからこそ」の商品を「コープ商品」と名付けておすすめしています。安全性の確保や確かな品質、お求めやすい価格を基本に、組合員の願いを形にした商品です。

また、2020年度下期より「今週の逸品」活動を開始しました。2030年ビジョンより「安心・安全」を基本に、組合員のくらしと健康に貢献し、産直や産地消などの視点を大切に「生協だからこそ」の商品の普及を目指しています。



2021年度に開発された
「いか醤油漬け」

食品の安全・安心への取り組み

「食の安全政策（鳥取県生協版）」の理解を深める取り組み

食の安全を取り巻くさまざまな問題の重層化、行政の仕組み・科学的知見の変化などを踏まえ、鳥取県生協としての考え方を改めて整理し、食の安全を求める組合員の願いに応え続けていくための取り組みをすすめています。

食の安全政策の主な項目

- 「食の安心・安全」とは
- 衛生管理に対する考え方
- 産直に対する考え方
- 化学物質の規制と使用基準に対する考え方
- 輸入食品に対する考え方
- 表示に対する考え方
- 食生活提案
- 商品をお届けするにあたり大切にしたいこと



※「食の安全政策」は鳥取県生協のホームページで公開しています。



「たべる*たいせつキッズクラブ」での
食品添加物実験教室の様子

品質管理の取り組み

コープ商品とは、生協の仕様で作られた開発商品で「安全・安心・適正な価格・より良い品質」等、組合員のさまざまな願いから開発されてきました。鳥取県生協では、鳥取県生協開発商品、日本生協連開発商品、コープCSネット開発商品等を扱っていますが、これらの商品は、生協の仕様に基づき契約された取引先で生産され、工場や産地での製造（生産）記録や原料の証明管理などを徹底しています。

また、コープCSネット^(※1)と協力し、商品の安全性の確保や、トレーサビリティの一環として工場点検や産地点検を定期的に行っています。点検の際は、契約された仕様書通りに生産されているか、衛生上の問題、農薬の使用状況の確認などを行い、不具合があれば改善指導はもとより、必要に応じて取り扱いの中止などを行っています。

組合員からの商品に対する意見やお申し出などについては、真摯に受け止め迅速な対応を心がけています。特に商品事故については、全国の生協組合員からのお問い合わせ・お申し出を専用の管理システム「クイックプロ」で一括管理し、商品の異変が疑われる場合は関係者全てにその情報が連絡さ

れます。「クイックプロ」には、その対応結果も含めて情報が蓄積され、全国の生協間で情報を共有しています。

2021年6月1日施行の改正食品衛生法により制度化された「すべての食品等事業者が行うHACCPに沿った衛生管理^(※2)」について、事業運営本部内に設置した「食品安全推進チーム」で検討を重ね、事業所ごとに「衛生管理計画」を作成し実施しました。

また、食品衛生法が定める「営業届」も厚生労働省の「食品衛生申請等システム」により届出を行っています。

※1 コープCSネット（生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合）とは、中四国9県の地域生協が出資し、事業運営をすすめる事業連合です。

※2 HACCP（ハサップ）とは、原料の受入から製造、製品の出荷までの一連の工程において、食中毒などの健康被害を引き起こす可能性のある危害要因を科学的根拠に基づいて管理する方法です。食品衛生法の改正により、一般的衛生管理に加え、HACCPに沿った衛生管理の実施を、原則として全ての食品等事業者に求められています。

組合員活動・食育・平和の取り組み

普段のくらしのコミュニケーション、情報交換の場づくり

各エリア会が主体となり、リモートでの活動を中心に商品学習会や子育てひろば、感染症対策を行っての平和活動や清掃活動などを実施しました。

また、組合員同士が主体となって活動する「コープ会」「コープくらぶ」「子どもにこにこくらぶ」では、発行される通信を通じて組合員同士でコミュニケーションを取ったり、家族や親子で取り組める活動を行いました。

そのほか「生協商品でつながるおしゃべり会」は、2020年度同様、非接触を基本として開催しました。



健康体操(中部エリア)

声 The Voice

子育てについていろいろな事が相談できるので毎月楽しみにしています。(子どもにこにこくらぶおたよりカードより)

食育の取り組み

「食べることの楽しさ」や「つくる人への感謝の気持ちを育む」ためのきっかけづくりをお手伝いしている「たべる*たいせつキッズクラブ」に138家族192名の登録をいただきました(2021年度)。

キッズブックや通信での学習、配布サンプルを使っている親子調理、おうちDE体験や産地提携米の田植え・稲刈り体験交流会、米粉クッキーづくり等のイベントを行いました。



たべる*たいせつキッズクラブ
稲刈り交流会

声 The Voice

お米のイベントでは、生産者さんの苦勞を知ることが出来る貴重な体験をさせていただくことが出来ました。旬の食べもの・レシピが載ったキッズブックや通信には、親も知らない食べもの情報があり、とても勉強になりました。サンプルを使っている親子調理も楽しかったです。

平和への取り組み

7月に「平和のつどい」を東部・中部・西部で開催し、被爆体験者の講演会や核兵器禁止条約、ピースリレーなどについて学びました。ピースリレーは感染症拡大に伴い中止となり、島根県との横断幕の引継ぎのみとなりました。長崎原爆展を東部・中部で開催し、県民へ長崎の原爆被災の実相を伝える取り組みを行いました。また、折り鶴の昇華作業体験や千羽鶴作り、ユニセフ学習会を実施しました。「核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を継続して行い、核兵器廃絶に向けた取り組みを行いました(署名数4,880筆2021年12月3日現在)。2022年3月にはロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議と平和的解決を求める緊急声明を発信するとともに、ウクライナ支援のユニセフ緊急募金を実施しました。平和通信「LOVE&PEACE」を月1回発行し、平和の取り組み紹介や募金協力の呼びかけを行いました。



島根県への受け渡し

災害復興支援の取り組み

鳥取県生協のビジョンの大きな柱である「持続可能な社会の実現、社会づくり」は、災害に対する復興支援や、思い合っ助け合い復元力のある社会づくりを目指しています。多発する自然災害に立ち向かい、「たすけあい」を通して支え合うことは、多くの組合員の願い(組合員の善意の拠出による基金)です。継続して支援することが必要な取り組みや、緊急事態に即応することを目的に、「虹のかけはし(鳥取県生協災害支援基金)」を活用し、年間を通して寄付を募ります。

- 2021年 7月 大雨災害静岡県義援金 ……………10万円
- 2021年 8月 国連WFP「ミャンマー緊急支援」……………30万円
- 2021年 8月 大雨災害支援募金 ……………10万円
- 2021年 9月 福島ひまわりプロジェクトin鳥取
「お絵描き教室～きずなのひまわりをかこう」…2,288円
- 2021年10月 東日本大震災県内避難者への訪問活動のための
訪問セット ……………3,253円
- 2021年10月 県内被災者交流事業「芋煮会」への食材提供 ……4,568円

生活支援の取り組み

くらしのサポート総合窓口

日常的な困りごとや相談をお聞きし解決を支援するため、生協の事業・活動のほか、行政のサービスや関係団体へのつなぎ、地域ぐるみで困りごとを解決していくための窓口です。家事援助やちょっとした悩み事など様々な相談の連絡をいただいています。



くらしのサポート総合窓口
(ココステーション米原(米子市)に併設)

くらし助け合いの会

生協は、人々の生活を守るために助け合いの組織として生まれたもの。その生協の精神に基づき、家事援助などくらしの中のちょっとしたお手伝いを通じて、組合員同士が助け合って暮らせる地域を目指すことを目的に「くらし助け合いの会(有償ボランティア)」の活動を行っています。



くらし助け合いの会
(清掃の様子)

(主な活動内容の一例)
子守り、調理、お掃除、衣替え、病気の付き添い、カーペットの敷き替え、お話ししながら生協の注文書の記入など。

声 The Voice

「たすけあい」は生協活動の原点。もっともっと活動が広がればいいなと思っています。

社会貢献活動

環境に関する取り組み

鳥取県生協では、持続可能な社会実現のために環境負荷の軽減や環境問題に対して積極的に取り組んでいます。環境面におけるエネルギー排出総量削減においては電気、車両燃料(軽油、ガソリン)、OA用紙、廃棄物を中心に事業活動での使用量の削減に年度ごとに前年を下回る目標・計画を立てて温室効果ガス削減に取り組んでいます。また、日本生協連の「生協の

2030環境・サステナビリティ政策」を参考にして目標・計画を設定して温室効果ガス削減に取り組んでいます。

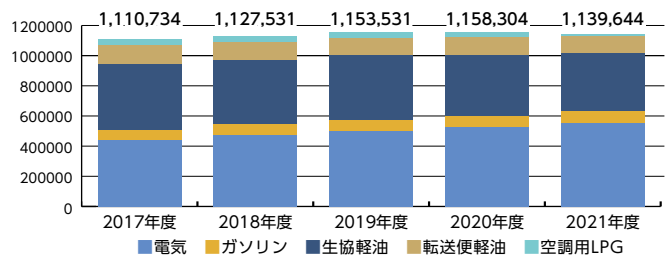
温暖化防止対策は、国際社会の緊急課題であり鳥取県生協では、環境保全活動に取り組むことは事業者責任として社会的責務と考え、本政策の実施を通して、SDGsの実現に貢献していきます。

温暖化防止自主行動計画とCO₂削減の取り組み

2021年度のCO₂排出量は、感染症拡大における生協の宅配事業の高まりがある中、前年比98.4%の実績で前年を下回ることが出来ました。商品センター内の本部部署の空調を電気に切り替える事によりLPGのCO₂排出量が前年比25.4%の減少になった反面、電気が前年比105.3%と高くなってきています。生協配送車両軽油使用量は、日常的なマップシステム活用により配送コースの見直し、改善をすることにより前年比96.2%と大きく削減が出来ました。

生協の事業活動で資源やエネルギーを消費し、廃棄物を排出することで、環境に様々な負荷(影響)を及ぼしています。鳥取県生協では、組織全体の環境負荷について把握し、環境負荷削減に取り組んでいます。

【CO₂排出量の推移】



【2021年度 鳥取県生協の環境負荷】

項目	数値	前年比	前年差
● 電気	1,465,166kwh	105.3%	+73,610kWh
● LPG (商品センター空調用)	1,608m ³	25.4%	-4,726m ³
● 車両燃料	ガソリン 32,311ℓ 軽油 146,577ℓ	101.6%	+518ℓ
● OA用紙	16,762kg	109.9%	+1,510kg
● CO ₂ 排出量	1,139,644kg	98.4%	-18,660kg
● 一般廃棄物	9,051kg	106.7%	+572kg

自然エネルギーの利用

太陽光発電設備を商品センターと東部支所に設置しています。

	稼働	発電出力	2021年度発電量	備考
商品センター	2014年4月	49kw	48648.0kWh	全量売電
東部支所	2018年3月末	40kw	45048.5kWh	余剰売電



太陽光パネル(商品センター)



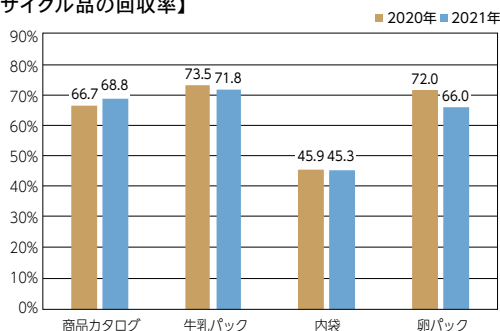
太陽光パネル(東部支所)

組合員のリサイクル活動

配送時にお渡しする商品カタログや、紙パック、内袋(お届け商品が入っている袋)、卵パック等の回収リサイクルに取り組んでいます。



【リサイクル品の回収率】



コープCSネットエコセンターの取り組み

知的障がい者の方を雇用しながら、中国5生協のリサイクル品(カタログ、牛乳パック、内袋)を集約、圧縮加工を行い資源リサイクル業者へ売却する事業を行っています。



県内の環境関係団体への参加と森林保全活動

● CO・OP虹の森

2009年より「とっとり共生の森」事業に参画し鳥取県、倉吉市と維持管理契約を結んで森林保全・育林活動を進めてきました。2019年度あらたに5年間の協定調印を結び、第13回目を2021年10月30日に開催しました。

当初植樹した苗木5,960本もたくさん芽吹いて、新たな森へと形成し始めています。今後も地域の関係団体や地元の方との交流を大切にしながら、森林環境保全や地球温暖化防止へ向けて活動していきます。



2021年度 CO・OP虹の森



枝打ち



2021年度 CO・OP虹の森 植樹



共生の森
キャラクター
とどみん



2021年度 せいぎょう農園開園式



ふなおか共生の里づくり活動協定調印式

● ふなおか共生の里づくり

2011年3月、県内13団体と「ふなおか共生の里づくり活動協定」を結びました。

この活動は鳥取県が進める「とっとり共生の里」づくりの一環で「食と農をつなぎ、美しい里山を再生し、生産者と消費者、都市と農村の連携交流といった取り組みを行うことにより、賑やかで元気な地域をつくっていくこと」を目的としています。

2021年で10年目を迎え、活動を継続し、さらに地域づくりを進めるために、協定書の再締結が行われました。

サンゴ礁の海を守り育む活動

沖縄のサンゴ礁は海水温の上昇の影響により、サンゴの「白化現象」が頻発し危機的な状況です。鳥取県生協を含む中四国の生協から始まった「もずく基金」の取り組みは全国に広がり、サンゴ礁再生の取り組みを中心に、沖縄の豊かな海を守る活動を行っています。2021年度鳥取県生協から15万5,712円を恩納村へ贈呈しました。

※もずく基金…井ゲタ竹内が製造する対象のもずく商品を購入すると、1商品1~2円が積み立てられ、「サンゴ礁再生事業支援協議会(恩納村漁協)」へ寄付されます。



サンゴ移植体験のようす



エシカル

エシカル—Ethical—とは、直訳すると「倫理的」という意味です。生協では地域や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」（エシカル消費）と表現し、「誰かの笑顔につながるお買い物」を積極的に応援しています。

生協ではエシカル消費を4つの視点で進めています。 ※以下の取り組みは一例です。

1 豊かな**地域**を作り出せたら

コープ商品は、生産者とのつながりや国産原料の使用拡大を通じて、日本の農畜水産業を応援します。

日本の農業を応援する



主要な原料に国産素材を使用している商品につけられるマーク。



商品の一例

2 地球の**環境**を守り続けることができれば

環境配慮は、生協の歴史の中でも大きなテーマです。毎年、環境配慮商品の開発目標を決めて積極的に取り組んでいます。

漁期や漁獲量などを制限し、水産資源を守る

持続可能な漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベル。



商品の一例

3 公正な**社会**の仕組みを作り出せたら

商品を通じて、社会インフラの改善や社会的公正の実現などにつながるテーマです。

フェアな価格で生産者を守る



国際フェアトレード基準に基づいて認証を受けた商品につけられた認証マーク。

*フェアトレードとは…発展途上国の農産物や製品などを市場価格で買い付けるのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア（公正）な価格」で継続的に輸入し、消費する取り組み。



商品の一例

4 人々の「生きる」を支えることができれば

くらしの問題の改善やハンディーキャップを持つ人々の支援などにつながるテーマです。

挑戦する人々を応援

応援食クッキー1袋につき1円を特定非営利活動法人「日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチーム」に寄付し、次世代を担うジュニアチームの合宿などに活用されます。



商品の一例

行政や他団体との連携



鳥取県と包括協定、県内全市町村と子育て支援に関する連携協定を締結しています。「コープ赤ちゃんサポートクラブ」や「はじめてばこ」のお届けなど、鳥取県内で子育て中の方を支援する取り組みを続けています。

2021年5月に消費者庁から『令和3年度消費者支援功労者（ベスト消費者サポーター賞）』をいただきました。

また、令和3年度障がい者雇用優良事業所として独立行政法人、高齢・障がい・求職者雇用支援機構より「理事長努力賞」を受賞しました。

中山間集落見守り活動

「鳥取県中山間集落見守り活動」は中山間地域等で活動する事業者と行政機関が連携して、中山間地域住民の異常などを早期発見し、連絡することで適切な活動がとれる体制を整備し、「安全で安心して生活できる地域づくり」を目的として実施している県の取り組みです。

鳥取県生協では、この活動に賛同して県内の全市町村と協定を交わし、地域見守り活動を実施しています。

主な活動は配送ルート（月曜日から金曜日まで）のなかで発見した異常を連携する市町村の窓口へ通報することです。



配送の様子



声 The Voice

見守り活動や生協のネットワークがうまく機能することが望ましい。生協に入っていないだけでも生協のトラックが走っているのを見ると安心するという声もいただいています。（自治体訪問での声）

子ども110番

鳥取県教育委員会の後援を受けて、生協配送トラックなどでの県内パトロールをはじめ、生協施設県内17ヶ所を子ども達の緊急避難場所、警察への通報場所として定め、地域社会への貢献を目指しています。



声 The Voice

地域の子どもやお年寄りを守っていくことが大切だと感じます。

障がい者サポート

障がい者就業支援機関と情報を連携し、就業体験の受け入れ態勢や求人内容の整備を行いました。

「あいサポーター(障がい者サポーター)」について役職員が学習を行い、障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)の実現に向け取り組みをすすめています。



声 The Voice

母の介護をしているとき認知症サポーター養成講座を受けたことがあります。(組合員さんからの声)

フードサポート事業



鳥取短期大学・鳥取看護大学へ物資のお届け

2016年4月にスタートしたフードサポート事業は、さまざまな理由で処分されてしまう食品を食の支援を必要としている方に提供する活動です。

鳥取県生協では商品センターの予備食品を行政や社会福祉協議会と連携し、生活困窮者自立支援や「鳥取市地域食堂ネットワーク」「とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”」の一員として県内の地域・子ども食堂へ提供しています。また、2021年度は県内の協同組合が連帯し、県内4大学生に物資支援を行う取り組みにも参加しました。



フードドライブ

フードドライブ事業

フードドライブとは、家庭で使われていない食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。鳥取県からの事業委託受け、お取引先様にもご協力いただき、2021年度は2,271点(2,117.6kg)の食品が集まりました。

職場環境の整備、安全運転の取り組みなど

安全運転の取り組み

交通事故や交通違反の防止を目的に、「安全運転管理者会議」を毎月開催しています。会議では運転中の「ヒヤリハット」事例等を共有するとともに、事故の未然防止対策を協議し防衛運転に繋げる取り組みを行っています。また、新入協の職員には自動車教習所での安全運転講習や内部トレーナーによるOJTを実施しています。



配送前の車輛点検

配送効率の見直し

配送効率の改善を実現するために、マップシステムを導入し、このシステムを活用した配送コースの見直しを随時行っています。配送効率の改善を行ったことにより、配送移動距離を短縮し、燃料削減や排出CO₂の削減を目指しています。



マップシステムを活用した配送効率の改善

男女共同参画の取り組み



2005年3月「鳥取県男女共同参画推進企業」の認定を受けたのをはじめ、「ファミリーフレンドリー企業」労働局長賞の受賞、「鳥取市次世代育成優秀企業」の表彰、また、2017年3月には「鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業」にも登録されました。今後も男女とも働きやすい職場環境づくりをめざしていきます。



コープ SDGs 行動宣言

鳥取県生協は「SDGs行動宣言」を地域のみなさんとともにすすめていきます

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔で暮らすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めています。

誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、改めて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。

以下の7つの取り組みを通じて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。



創立70周年を機に、これまで、そしてこれからも変わらない不変の価値とともに、未来へ向けての新しい鳥取県生協をイメージしたタグライン「**みらいへ×コープ**」をつくりました。「×」は、虹を象徴する4つのアーチで構成し、それぞれ、

- 「翔ける」…未来への希望
- 「架ける」…人の思いをつなぐ
- 「描ける」…未来をデザインする
- 「掛ける」…アイデアを掛け合わせる

の4つの意味を含め、それらがスパイラル状に、増幅していくイメージをマークで表現しています。